准教授　**平田　晴之**　ひらた　はるゆき

取得学位	博士（獣医学）
研究室･ユニット名	獣医臨床病理学
研究キーワード	①獣医臨床病理学
	②寄生虫病学
	③原虫病学

寄生虫・原虫における分子生物学的診断方法の確立

研究の概要・特徴

臨床病理とは身体一般検査から特殊診断を網羅する臨床診断学を担う守備範囲の広い研究領域である。
臨床病理学分野の中でも本ユニットが目指す高度診断は、炎症性疾患の病態評価、分子生物学的手法を駆使した病原体（細菌・寄生虫・原虫）の検査、そして病理組織診断であり、研究に励んでいる。

産業界等へのアピールポイント（用途・応用例等）

近年、我が国ではジビエ料理やレア肉の食用などが盛んになりつつある。生肉は熱処理することで原虫のヒトへの直接的な感染はないと考えられるが、畜産農家が本原虫感染ダニからの感染の可能性は十分ありえると言える。
本研究課題では我が国のシカ動物（エゾジカ）、牛などの家畜及び牧野に生息する媒介ダニから原虫の疫学的な調査を行うことで感染状況が明らかとなる。
さらに、検出された原虫の遺伝子解析及び進化系統解析を行うことにより感染防御ための基礎的データの蓄積を行なっている。

研究シーズ一覧